

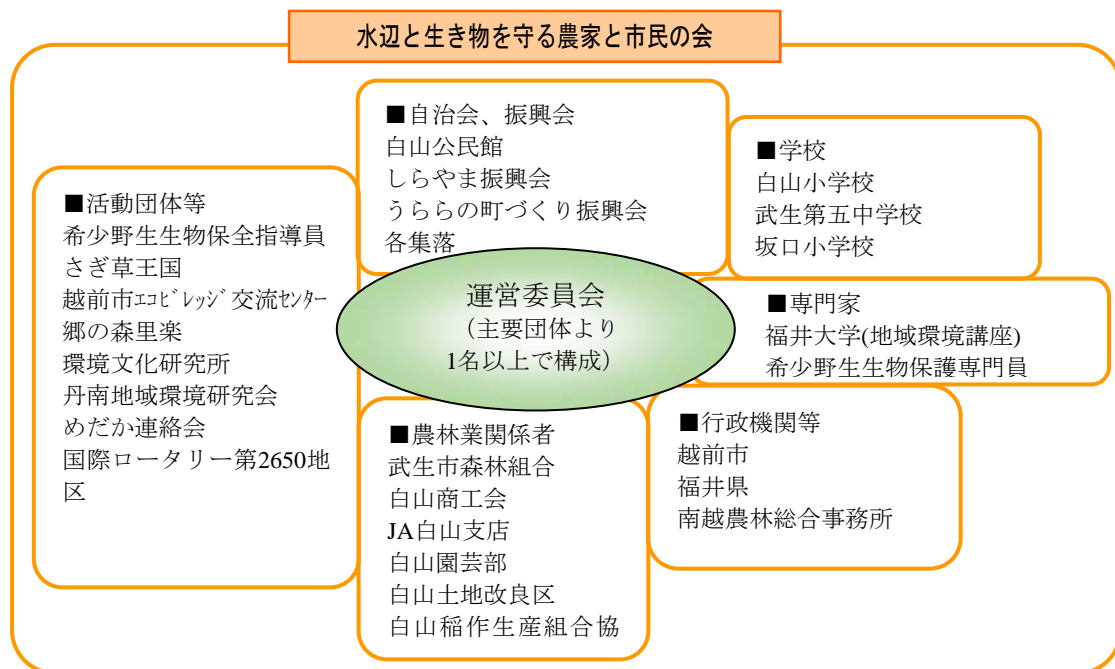
2 多様な主体の参画のための体制整備の進展

②地域住民の主体的な参加を引き出すしくみ・体制整備の例

福井：連携組織（水辺の生き物を守る農家と市民の会）の設立による体制整備

地域戦略の内容を将来にわたり継続して実施できるように協議会が設立された。構成は専門家、希少野生生物保全指導員、自治組織、活動団体、地元小中学校、農協等事業団体、行政機関などで、里地里山保全を行なうにあたって関係する諸機関が参加している。

本協議会では、里地里山保全に関わる各種事業を連携して行なっている。これまでに、ため池での外来種駆除活動とビオトープづくり（休耕田を利用した、湿地生物の生息地の保全再生）などを実施した。協議して活動計画をたて、それぞれの構成員が、技術的指導、場所の提供、作業準備、作業への参加等、役割分担のうえ協力して事業を行なっている。



ため池の外来種駆除活動とオオクチバスのフライ



休耕田にため池ビオトープ造成